

判断基準シート

2026 年 月 日 ()

① 業務定義 (何の仕事か?)

業務名:

→ 盤内結線作業

担当者:

→ 職長 (および担当作業員)

ゴール (何をもって完了か):

→ 図面通りに安全かつ確実に結線が完了している状態

完了の状態 (目で見て判断できる形):

→ 全回路が図面通り接続されている

→ 端子の緩みなし (規定トルク確認済み)

→ 誤結線ゼロ

→ 通電前チェック完了

※ 終わりの定義がないと全てがズレる

② 目的（なぜやるのか）

この作業の目的：

→ 設備が安全に正常動作する状態を作るため

やらないとどうなるか：

→ 誤動作・事故・やり直し発生

一番避けたいリスク：

→ 感電・短絡・設備破損

※ 目的 = 判断基準

③ 判断基準 (OK/NGの条件)

OK条件 (これなら良い)

- 図面と現物が一致している
- 配線ルートが整理されている (干渉なし)
- トルク規定内で締結されている
- 表示・番号が確認できる状態

NG条件 (これはダメ)

- 図面未確認での作業
- 仮接続のまま次工程へ進む
- 締め忘れ・緩みあり
- 配線が他作業の妨げになる状態

※ 曖昧な言葉は禁止 (例 ちゃんと・しっかり・きれい など)

④ 優先順位（迷った時の順番）

1位 安全（感電・短絡防止）

2位 工程全体への影響（他業種・他作業との干渉）

3位 品質（正確性・見た目）

4位 スピード

※ 結線を先に進めたい場合でも、他作業を止めるなら優先順位は下がる

※ 衝突したときに機能する（例 安全＞品質＞スピード）

⑤ 判断フロー（迷った時の手順）

1 まず確認すること：

→ 他作業との干渉があるか確認

2 次に見ること：

→ 次工程に影響するか確認

3 それでも迷ったら：

→ 単独で完結できる作業か判断

4 それでもできなければ

→ 判断できなければリーダーに確認

※ 考え方の順番を固定する

⑥ 任せる条件（ここが核心）

この条件を満たしたら「結線を先行してよい」：

- 他業種の作業を止めない
- 自分の範囲で完結できる
- 図面理解に不明点がない

報告が必要なライン

- 工程に影響を与える場合
- 順番を変更する場合
-

判断してはいけない領域：

- 全体工程を変える判断
- 他業種との調整が必要な変更
-

※ どこまで任せるかを明確にする

⑦ よくあるミスと対処

よくあるミス：

- 自分の作業を優先してしまう
- 図面の読み違い
- 結線後の手戻り

原因：

- 全体工程の理解不足
- 確認不足
- 他作業との干渉未確認

対処：

- 朝礼で全体共有
- 作業前チェック必須
- 事前に干渉確認

※ 過去の失敗を基準に変える

⑧ 実例（具体ケース）

状況現場を収集する（過去からの進め）

チームの力で情報を集める

ケース1 「結線を先に進めたい」

→ 判断： このケースではNG

→ 理由： 他作業と干渉し、工程全体に影響が出るため

ケース2 「他作業が入らない範囲で結線」

→ 判断： OK

→ 理由： 単独完結でき、全体に影響しないため

※ 抽象 → 具体に落とす

⑨ リーダーの関わり方

口を出す条件：

- 優先順位がズレているとき
- 工程に影響が出るとき
-

見守る条件：

- 基準内で判断しているとき
-
-

修正の伝え方：

- × 「違う」
- ○ 「この条件だと、工程優先だから順番はこっちになる」
-

※ 人によっては捉え方が違うので要注意

進め方

ステップ1：ヒアリング

→ 今どう判断しているかを聞く

ステップ2：言語化

→ 感覚を言葉にする

ステップ3：基準化

→ 誰でも使える形にする

ステップ委4：現場で使う

→ 実際に回して修正